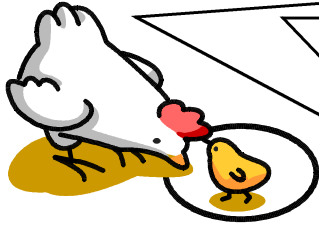


令和3年10月22日

八戸市立新井田小学校
同 父母と教師の会



啐啄

NO.748

☎ 25-5125
☎ 25-3150

後期がはじまりました

校長 成田明彦



<大沼でのカヌー体験>

10月4日から後期が始まりました。始業式では、前期頑張ったこととして、「クラスや学年が違う人とも協力している。」「進んで授業に参加している。」を挙げた児童が多かったことを褒め、後期は、自分が誰かの役に立っていることを実感できるように、「友達に勉強を教える。」「係や当番、掃除を頑張る。」「他の人に優しく接する。」ことをもう少し頑張らましょと話しました。今年の学校目標である「他者や集団との関係の中で、自分に自信をもち、生き生きと活動できる子どもの育成」に向けて、職員一同改めて頑張っていきます。保護者の皆様も子どもたちの頑張りを後押しし、頑張りが見られた時には自信につながる

ようにたくさん褒めてくださるようお願いいたします。

さて、19都道府県に出されていた緊急事態宣言が解除され、八戸市の感染状況も落ち着いてまいりました。本校でも13日には各家庭1名の人数制限をした上での分散型ではありますが参観日を実施して、保護者の皆様方に子どもたちの学習の様子を見ていただくことができました。また、17日からは延期されていた修学旅行を実施することができました。初日・2日目と気温は低かったのですが、100人を超える子どもたちが誰も体調を崩すことなく、無事に予定していた日程全てを終えることができました。感染防止の約束事をしっかり守った6年生の頑張り、体調管理に気を付けてくださった保護者の皆様方に感謝申し上げます。二泊三日の修学旅行中の子どもたちの様子で特に素晴らしいと感じたのは、食事を残す子が少ないことと睡眠時間の確保に努めていたことです。みんなが元気に旅行することができた最大の要因がしっかり食べ、よく寝ることだったと思います。また、持ち物の管理や時間を守ることもよくできていました。日頃のご家庭のしつけや学校の指導の成果が現れていました。



<整理整頓ばっちり>

現在のような感染拡大が比較的収まっている状況がいつまでも続くとは思えませんが、感染防止に気を付けながらマラソン



<五稜郭見学>

大会や縦割り班で活動するすずかけ集会など今だからこそできる活動に取り組みせたいと思います。例年に比べて練習量が少ない中ではありますが、外で思いきり運動できるマラソン大会はコロナ禍であるが故に大変貴重な場です。また、高学年児童が下の学年の子をお世話する役割を果たすことで成長を自覚し、中・低学年児童が高学年児童に感謝する機会となるすずかけ集会も子ども同士が楽しく触れ合える大切な場です。

学校の教育活動も、体育館に全校児童が集まって全校朝会や集会活動を行うなどリスクの高い活動は今後も控えなければいけません。地域の方から学ぶ活動を再開するなど、感染状況に応じて少しずつ活動の範囲を広げていく予定です。



「啐啄」(そったく): 「啐」は卵がかえる時、殻の中で雛がつつく音、
「啄」は母鶏が殻をかみ破ること。